

## 序 章 計画策定にあたって

### 1. 計画策定の趣旨

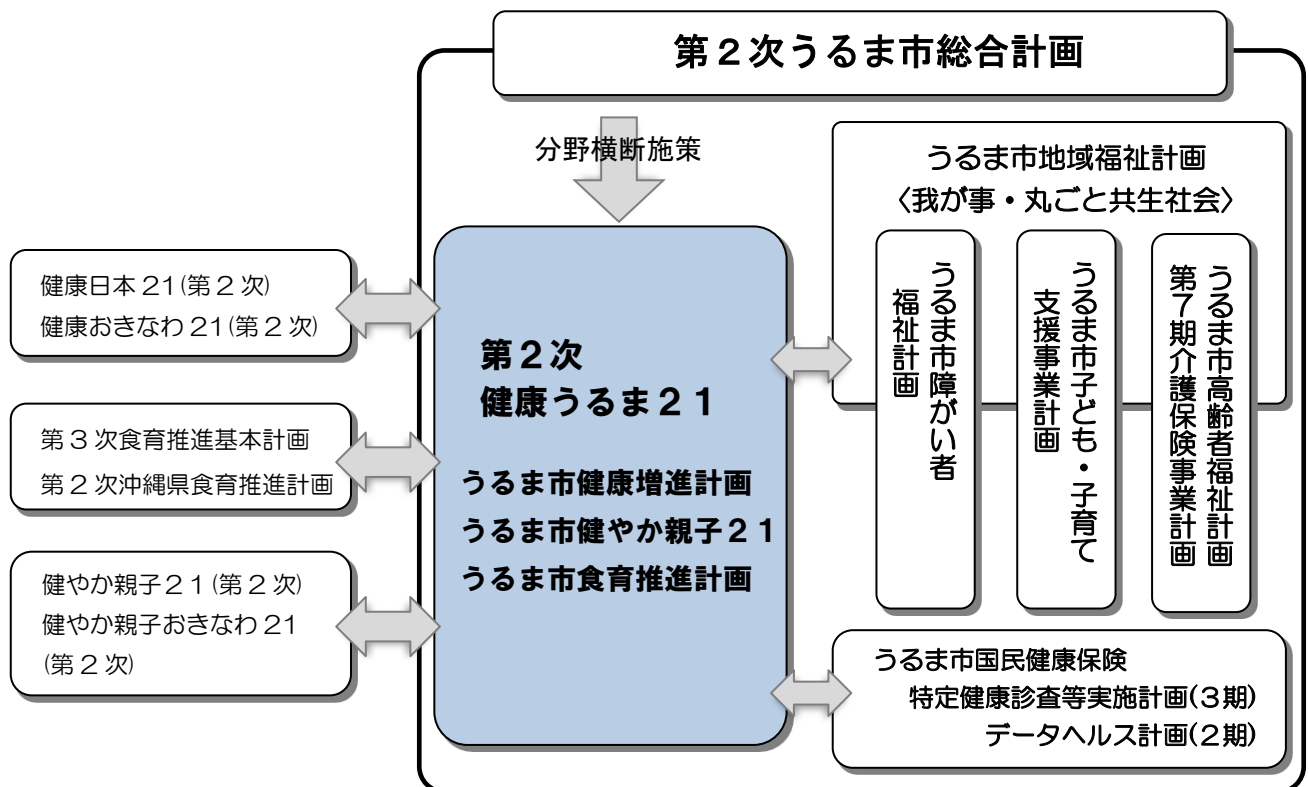
本計画は、2007(平成19)年度から、第1次の10年期間の計画をスタートさせました。2012(平成24)年度からの「後期計画」においては、国の「健康日本21(第2次)」と県の「健康おきなわ21(第2次)」との整合性を図りながら、健康づくり施策を展開しています。

ライフステージごとの健康課題を踏まえながら、妊娠期を含めできるだけ早い段階からの健康的な生活習慣の確立による生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底、地域のつながりを含む健康を支えるための社会環境づくりなど、市民の健康づくりを支援していくことをめざしています。

### 2. 計画の位置づけ

本計画は、「第2次うるま市総合計画」の中で市民の健康づくりを推進する分野横断施策として位置づけており、各種関連計画との整合性が図られた、健康づくりに関する具体的な方策を定めています。

また、「健康増進計画」(健康増進法)及び「食育推進計画」(食育基本法)、「健やか親子21」(母子保健計画策定指針/国民運動計画「健やか親子21」)を包含した計画です。



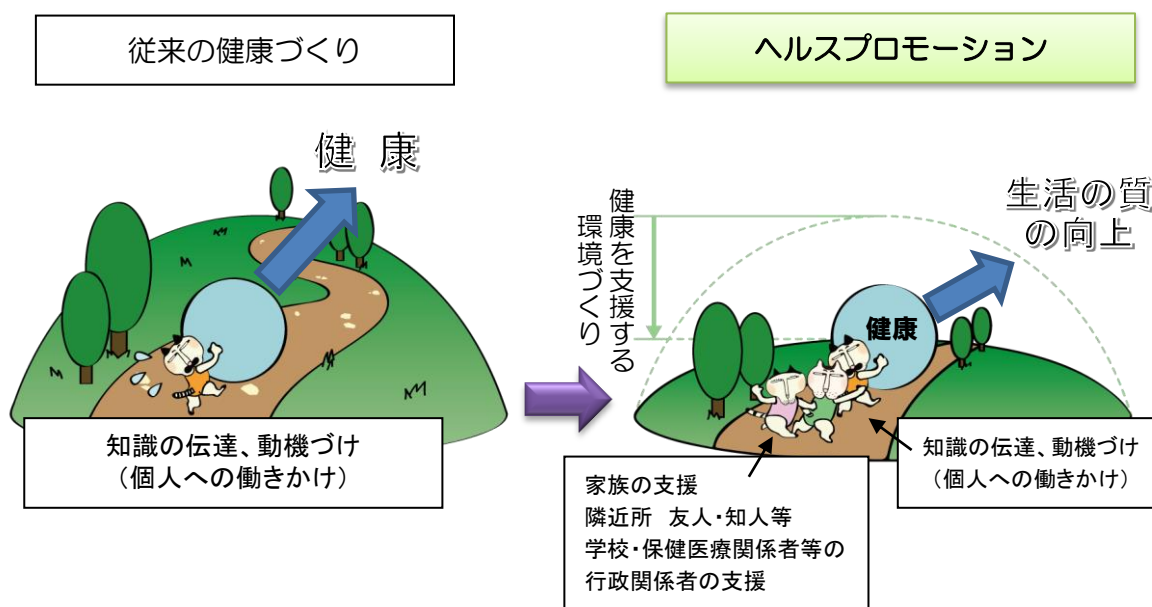
### 3. 計画の期間

本計画は、2018(平成 30)年度を初年度として、2023 年度を目標年度とする6年を計画期間とします。

計画期間					
2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
→					目標年度
					(評価) 計画の見直し
					健康日本21 (第2次) 最終年度 基本指針等の見直し

### 4. 第2次健康うるま21の特徴

- (1) 市民一人ひとりのQOL※1の向上をめざします。
- (2) 行政だけでなく個人はもちろん、家庭・地域・学校・職場など、誰もが主体的に取り組むことができる健康行動を、関係機関や関係団体が支援していくというヘルスプロモーションの視点で取り組みます。
- (3) 「日常生活そのものを改善しようとする健康づくり(一次予防)」と「病気の早期発見・早期治療(二次予防)」、「健康を支え、守るための社会環境整備」を主要な視点とします。
- (4) 市民一人ひとりが実行可能な健康づくり運動を推進できるよう、健康に対する意識や生活習慣・保健行動などの把握に努め、現状を分析し、健康課題を明確にすることで具体的な実践方法と目標設定を行います。



※1 QOL：クオリティー・オブ・ライフ。一般に、ひとりひとりの人生の内容の質や社会的にみた生活の質のことを指す。

## 5. 計画の推進体制

本計画の推進にあたっては、計画の基本理念やめざす姿の実現に向けて、次に挙げる体制に基づき推進します。

### (1) うるま市健康づくり推進協議会 本部会

「うるま市健康づくり推進協議会本部会」において、計画進捗状況などをもとに取り組みを検証し、施策推進に関する指導・助言を行います。また同協議会で検討した内容を、市民へ情報開示します。

### (2) うるま市健康づくり推進協議会 幹事会

「うるま市健康づくり推進協議会幹事会」において、計画の進捗状況の把握と検証を行い、「うるま市健康づくり推進協議会本部会」からの指導・助言を踏まえ、アセスメント(情報を収集・分析して課題把握)を行い、「Plan(計画策定)→Do(実施)→Check(点検・評価)→Act(改善)」のマネジメントサイクルに基づき、円滑な計画推進に努めます。

### (3) うるま市健康づくり推進協議会 部会

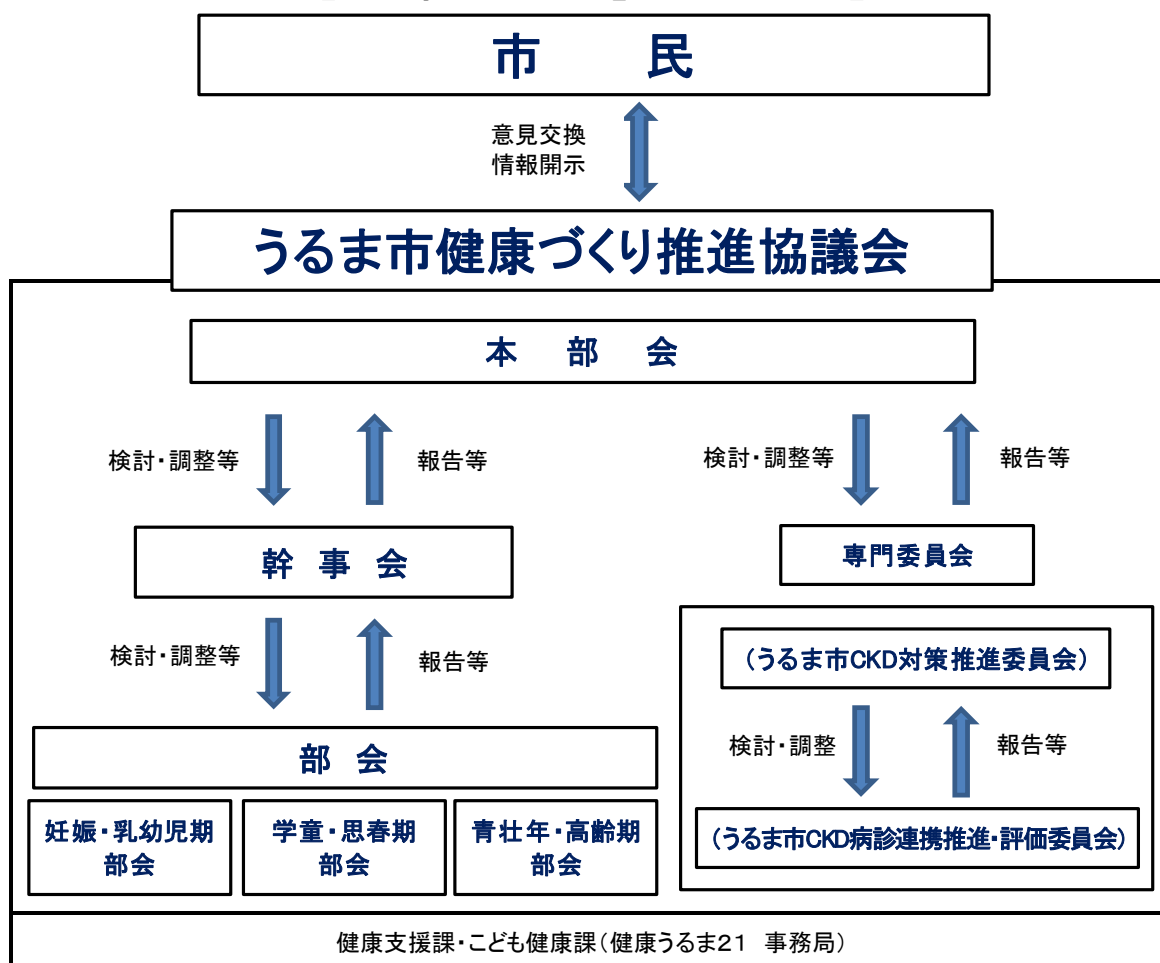
「第2次健康うるま21」を効果的に推進するために、「妊娠期・乳幼児期部会」「学童・思春期部会」「青壮年期・高齢期部会」の3部会を設置し、部会ごとの連絡会議を定期的に開催します。

各部会においては、計画の推進に向けた課題並びに取り組み状況、連携の重要性等に関する認識を共有し、効果的な健康づくりの展開をめざします。

### (4) うるま市健康づくり推進協議会 専門委員会

人工透析患者の割合が全国と比べ約1.4倍多く、慢性腎臓病(CKD)が総医療費の約1割を占める本市では、新規透析導入者の減少が大きな課題です。かかりつけ医や腎臓専門医などを含め、関係機関とともにCKDの発症・重症化予防の総合的な取り組みを強化するために、うるま市健康づくり推進協議会 専門委員会として「うるま市CKD対策推進委員会」「うるま市CKD病診連携推進・評価委員会」を設置しCKD対策を推進していきます。

【「健康うるま21」の推進体制】



【構成メンバー】

〔本 部 会〕

- 中部保健所            ● 市商工会代表        ● 市自治連絡協議会代表    ● 市老人クラブ連合会代表
- 市女性連合会代表   ● 市青年連合会代表   ● 市PTA連合会代表        ● 母子保健推進協議会代表
- 市食生活改善推進協議会代表   ● 市体育協会代表    ● 学校長代表            ● 医療機関代表
- 歯科医師会代表    ● 助産師会代表        ● 社会福祉協議会代表        ● 学識経験者 等

〔幹事会〕健康うるま21計画推進に関連する担当課長及び関連機関等

〔部 会〕健康うるま21計画推進に関連する担当課員及び関連機関等

- 保育所   ● 子育て支援センター   ● 児童センター ● PTA連合会   ● 養護教諭会代表(小中学校)
- 学校給食センター(栄養士代表 等)

【専門委員会】

①CKD対策推進委員会

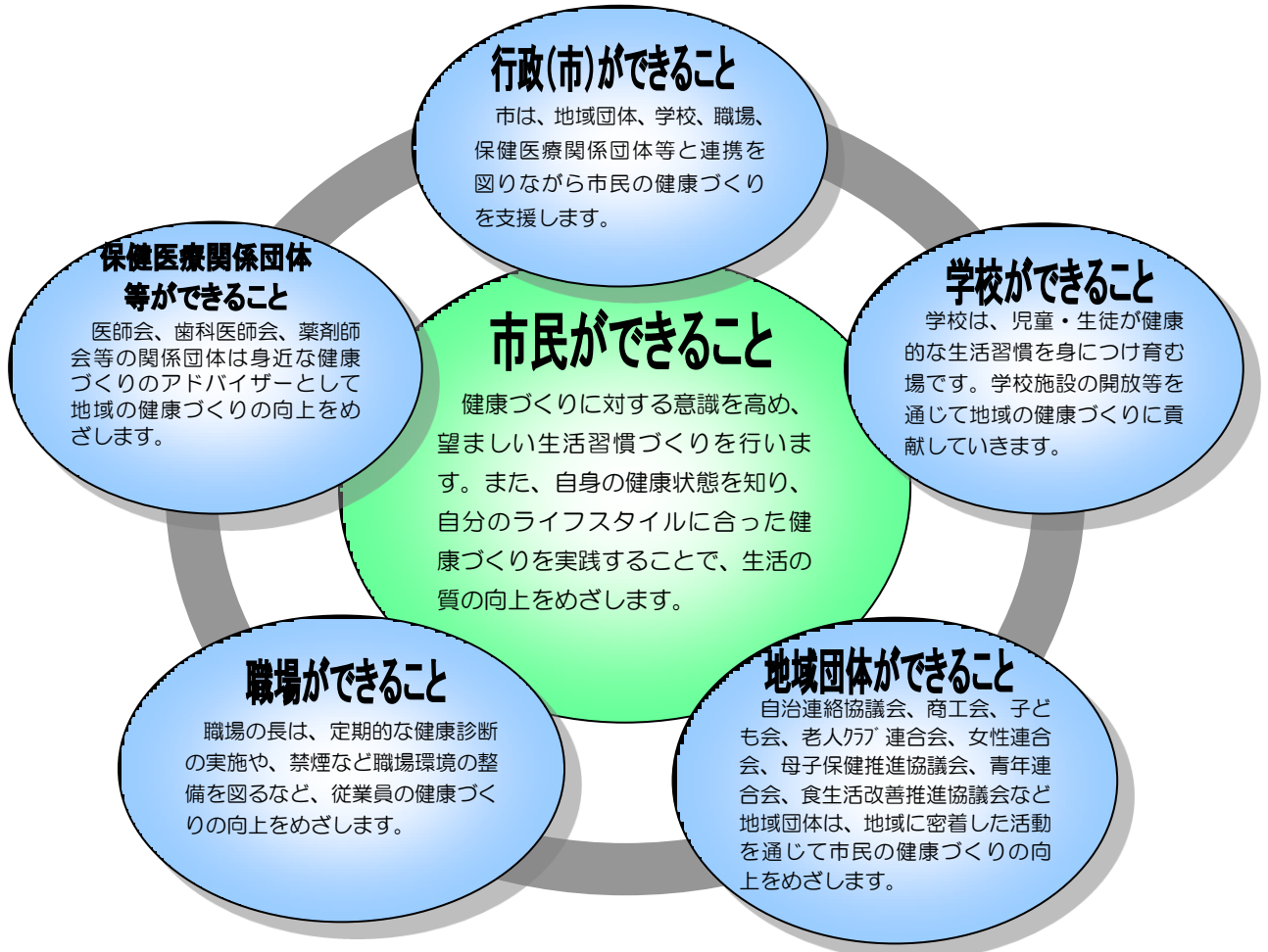
- 中部保健所代表        ● 中部地区医師会代表    ● 薬剤師会代表        ● 栄養士会代表
- 市内医師 代表        ● 職域代表                ● 職域保険者代表(協会けんぽ)
- 母子保健推進協議会代表   ● 食生活改善推進協議会代表    ○ 市民部長

②CKD病診連携推進・評価委員会

- 中部地区医師会代表    ● 腎臓専門医代表        ● うるま市・沖縄市内    かかりつけ医代表

(5) 市民・関係機関・行政などの役割

市民・学校・地域団体・職場・保健医療関係団体などの各主体と、行政が一体となって「健康うるま21」を推進します。



(6) 計画の評価

本計画で示す目標を達成するためには、市民及び関係団体等の理解と協力を得ながら、各種施策を推進することが重要です。このため、各分野ごとの目標設定にあたっては、できるだけ数値化した指標を用いて計画の進捗状況が見えるように工夫し、2023 年度には総合的な評価を行います。なお、2023 年度において目標達成の状況や社会情勢の変化を踏まえ計画見直しを行います。

また評価した結果は、広報や市のホームページで公表します。